

オリジナル・バレエ・リュス
in メキシコ

vol.46

Original Ballet Russe in Mexico

2014/2/19 (Wed.) ~ 2014/3/23 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆ラテン風の椅子に座るワシリー・ド・バシル大佐のポートレート
(写真 [PH-324] / 1930年代~1940年代 / アメリカ)
Photograph of Col. W. De Basil / 1930s-1940s / America / 24.0×18.0cm (PH-324)◆オリジナル・バレエ・リュス 南米ツアー公式プログラム、表紙: パブロ・ピカソ
(プログラム [PR-BR-MC-OF-76] / 1942年)
Official programme of Original Ballet Russe, South American Tour / Cover design by
Picasso, Pablo / 1942 / 30.5×20.0cm (PR-BR-MC-OF-76)◆オリジナル・バレエ・リュス メキシコ・シティ、ベジャス・アルテス宮殿公演の
ハウスプログラム
(プログラム [PR-OB-HP-05] / 1941年3月6日 / ベジャス・アルテス宮殿、メキシコ)
House programme of Original Ballet Russe / 1941.3.6 / Palacio de Bellas Artes,
Mexico / 23.4×17.0cm (PR-OB-HP-05)◆ブエノスアイレスに伝わる物語を題材に作られたバレエ『Once Upon a Time...』、
オリジナル・バレエ・リュス アルゼンチン、コロン劇場初演のハウスプログラム
(プログラム [PR-OB-HP-044] / 1942年11月27日 / コロン劇場、アルゼンチン)
House programme of Original Ballet Russe / 1942.11.27 / Teatro de Colon, Argentina /
23.4×16.4cm (PR-OB-HP-044)◆『卒業舞踏会』、オリジナル・バレエ・リュス アルゼンチン、コロン劇場公演の
ハウスプログラム
(プログラム [PR-OB-HP-83ws] / 1945年10月18日 / コロン劇場、アルゼンチン)
House programme of Original Ballet Russe / 1945.10.18 / Teatro de Colon,
Argentina / 23.1×17.2cm (PR-OB-HP-83ws)◆オリジナル・バレエ・リュス メキシコ、デゴジャド劇場のハウス・プログラム
(プログラム [PR-OB-HP-008] / 1942年2月5日 / デゴジャド劇場、グアダハラ)
House programme of Original Ballet Russe / Degollado Theatre, Mexico /
1942.2.5 / 23.3×17.4cm (PR-OB-HP-008)◎企画 水野慎子 / 薄井憲二バレエ・コレクション・アシスタント・キュレーター
Planning Noriko Mizuno (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

BAILE DE GRADUADOS

ORIGINAL BALLET Russe

Kenji Usui Ballet Collection

オリジナル・バレエ・リュス
in メキシコ
Original Ballet Russe in Mexico

vol.46

2014/2/19 (Wed.) ~ 2014/3/23 (Sun.)

1929年、セルジュ・ディアギレフがこの世を去りバレエ・リュスは解散しました。しかし、バレエ・リュス再結成を望む声は大きく、それに応える形で1932年、当時モンテカルロ歌劇団のバレエ芸術監督を務めていたルネ・ブルムとロシア歌劇団の経営者のワシリー・ド・バシル大佐がバレエ・リュス・ド・モンテカルロを結成しました。芸術監督にはランサンやマシオンを迎えられます。その後ブルムとバシル大佐が意見の不一致から決別します。ブルムはモンテカルロ・バレエ・リュスを新に結成しました。バシル大佐はコヴェント・ガーデン・バレエ・リュスを1938年に、そしてオリジナル・バレエ・リュスを1939年に率いました。それら全てのカンパニーを総称してバレエ・リュス・ド・モンテカルロと言われます。

オリジナル・バレエ・リュスは、バレエ・リュスが訪れることのできたオーストラリア、カナダ、そしてメキシコを含む中南米の地へバレエを届けました。このバレエ団の代表的な作品は『卒業舞踏会』です。この演目は現在も踊り続けられています。公演では『薔薇の精』、『金鶏』、『シェエラザード』などのバレエ・リュス時代の演目や、『美しき青きドナウ』、『プレサージュ』、『コティヨン』など、ブルムとバシル大佐が決別する前のバレエ・リュス・ド・モンテカルロの作品も多く踊られました。オリジナル・バレエ・リュスは、1941年から1946年にかけてメキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、チリなどを回る中南米ツアーを頻りに行きます。環境が大きく異なる地でのツアーは、移動、オーケストラ、ダンサーの体調などいくつもの苦難がカンパニーを襲いました。このツアー中に、カンパニーは積極的に各国の地元の物語や伝説を題材にしたバレエを作りました。これによって、当時これらの国々では馴染みの薄かったバレエは受け入れられ、親しみ深いものとなりました。

今回は、オリジナル・バレエ・リュスの活動を、特にメキシコに焦点を当て、ご紹介いたします。

Hyogo Performing Arts Center

ORIGINAL
BALLET Russe

次回予告

企画展 Vol.14

ブロンスラワ・ニジンスカ

～ニジンスキーを継ぎそして超えて～

Bronislava Nijinska ~ pursued and transcended Nijinsky's work ~

天才ニジンスキーの陰に隠れがち存在だが、その妹ブロンスラワ・ニジンスカは才能溢れる振付家として今でも『牝鹿』、『結婚』といった作品が踊り続けられている。兄ニジンスキーの背中を追うように育ったが、振付家としては、ニジンスキーと近い点はあるものの、独自のアプローチを行った。その作品は今見ても十分に新鮮であり続けている。そのニジンスカの歩みを日本初の規模でご紹介いたします。

(期間: 2014/3/18~2014/4/13 於: 2階共通ロビー・ピアッツァ)

◎企画・監修

芳賀直子(はが・なおこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

禁転載・複製・引用